

ワークショップ：「3次元設計とCAE／ものづくり」
～Virtual Engineering 環境での設計/開発/ものづくり～

日時：

2015年9月25日 9:00-12:00

趣旨：

Industry4.0を例に世界の設計/開発/ものづくり環境が3Dを用いたVirtual Engineeringに移行しております。その中で、日本の機械産業の一部では3D/CAE/Virtualの活用価値を共有しないまま、新しい時代の中で取り残されております。そこで、3D/CAE/Virtualを駆使した設計の中で機能と量産ものづくりを考慮した「新しい設計・ものづくりの融合」例を示し、設計とものづくりの役割と将来像を議論提示したいと考えます。

本ワークショップでは、産と学の双方からパネリストをお招きし、それぞれの立場から、設計とものづくりの現在の課題と今後の方向性に必要な取り組みについて紹介して頂きます。

プログラム：

CAEを活用した設計、ものづくり、その教育に関する講演の後、講演者も参加した「3次元設計とCAE／ものづくり」～Virtual Engineering 環境での設計/開発/ものづくり～と題し、パネルディスカッションを開催致します。

昨年、第24回 設計工学・システム部門講演会で開催した『ものづくりと設計、日本のCAE どうする』－設計にCAEは本当に役立っているのか?－と題したワークショップの続編として、企画致しました。

皆様のご参加をお待ちしております。

昨年のレポート：

http://www.jsme.or.jp/dsd/Newsletter/no41_extra_issue/dsd2014-workshop-CAE_report.pdf

時程

9:00- 9:10 趣旨説明&司会

内田孝尚 (株式会社本田技術研究所四輪 R&D センター)

9:10-10:10 講演

講演者：

大藪耕平

(元株式会社本田技術研究所・主任研究員)

緑川哲史

(株式会社 松浦機械製作所 技術本部 AM テクノロジーゼネラルマネージャー)

泉 聡志

(東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授)

10:10-10:20 休憩

10:20-11:30 パネルディスカッション

モデレータ：

木見田康治 (首都大学東京大学院システムデザイン研究科. 助教)

渡辺健太郎 (独立行政法人産業技術総合研究所サービス工学研究センター)

パネリスト：

西脇眞二 (京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻. 教授)

泉 聡志 (東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授)

大藪耕平 (元株式会社本田技術研究所. 主任研究員)

緑川哲史 (株式会社 松浦機械製作所技術本部)

内田孝尚 (株式会社本田技術研究所四輪 R&D センター)